

昭和大学漢方医学センター活動記録

◇講座の概要

昭和大学漢方医学センターは2006年に新設された講座で、昭和大学医学部第一生理学教室と連携を図りながら、臨床・Faculty Development・学生教育・基礎医学研究・東洋医学研究会の開催などの活動を行っている。

昭和大学医学部第一生理学教室は、昭和46年に針麻酔が中国で発表された翌年より針麻酔誘起の機序の解明と動物催眠誘起の機序との異同性について研究を開始し、「針麻酔の鎮痛に対する神経-体液性物質の関与」「下行性痛覚抑制機構」「針鎮痛におけるオピエートレセプターを介する伝達機序」など針鎮痛のメカニズムを生理学的側面より解明してきた。

現在は、統合医学・統合医療を生理学的視点から解明することを目指し、漢方薬および鍼灸刺激のおよぼす免疫系・血液流動性への影響、ストレスのおよぼす血液流動性・活性酸素への影響、痛みと免疫の関連、磁気の生体機能変調などについて研究が進められている。

◇組織構成

主任教授（センター長） 久光 正
 客員教授 Steven. KH. Aung
 （アルバータ大学、家庭医学科教授、カナダ鍼灸師資格試験員）
 石野 尚吾
 佐藤 孝雄
 准教授 郭 試瑜
 砂川 正隆
 兼任講師 村居 眞琴
 佐原 正明
 山本 竜隆
 小野 賢二郎
 相馬 利光
 幸田 るみ子
 タイムライン
 兼任講師 浅野 和仁
 助教 石川 慎太郎
 倪 健強
 研究補助員 右近 美恵子
 大学院生 時田 江里香 鈴木 昌
 岩波 弘明 竹本 真理子
 池谷 洋一 久保 哲也
 磯崎 雄一 酒井 健
 本田 豊 村田 健三郎

米山 早苗	依積田 ゆかり
貴島 健	五味 範浩
齋藤 洋幸	須賀 大樹
福島 正也	吉田 篤弘
芳田 悠里	
特別研究生 本間 亜矢子	木暮 守宏
越石 直巳	草柳 肇
池本 英志	久光 直子
原 美智子	樋口 毅史
小林 喜之	北村 敦子
普通研究生 安藤 幸彦	菱田 不美
佐藤 三千雄	岡田 まゆみ
中村 明央	荒井 強
吉田 篤正	楠本 盛一
田村 敏則	黄 維蓉
日下 史章	花川 一郎
成田 和広	堀川 浩之
朱 慧敏	梅 建
中野 雅之	仲里 誠毅
虞 穎	高橋 一衛
方 劍喬	劉 延慶
遠藤 真澄	鮫島 達夫
牛尾 房雄	中熊 尊士
根本 浩一郎	松橋 明宏
石野 徳子	許 爽
矯 勇軼	堀部 有三
江黒 剛	蔣 星紅
大下 優介	内藤 美智子
難波 義知	藤井 恵悟
渡辺 実	田中 宏典
木村 隆信	海野 久枝
笹川 睦	蔵本 昇
海老原 為博	海老原 加代子
松本 美由季	北野 仁
安斎 勉	岡 潔
岡 興志子	藤原 博士
與儀 美由紀	與儀 寶男
村田 孝男	麻生 太行
秋澤 孝則	松田 貴子
王 興栄	前田 悠
浅田 初枝	大森 隆史
須永 美歌子	朝比奈 茂
前川 勝彦	斉藤 悠
西迫 尚	谷川 博人
坂上 聡志	檜尾 明彦
井関 雅一	

◇診療活動

内分泌・代謝・循環器内科の漢方医学センターとして開設された。石野尚吾・時田江里香（毎週火曜日）、幸田るみ子（毎週水曜日）、堀部有三・谷川博人（隔週木曜日）らを中心に東洋医学的な診察と漢方エキス剤の処方による漢方治療を行っている。現在は、外来の患者に対しての診療に限られるが、今後は他科との連携を図りつつ、活動の場を広げていきたいと考えている。

◇研究発表

- 1) K.Asano, S.Mihara, H.Yoshida, E.Tokita, M.Suzuki, T.Hisamitsu. Influence of odor stimulation on beta-endorphin levels in rat hypothalamus. 第87回日本生理学会大会, 2010. 5. 19-21(盛岡)
- 2) Shi-Yu.Guo, X-H.Jiang, M.Sunagawa, M.Suzuki, T.Hisamitsu, Hyperalgesia induced by peripheral injury is mediated by NMDA receptor in the hypothalamic arcuate nucleus in rat. 第87回日本生理学会大会, 2010. 5. 19-21(盛岡)
- 3) S.Ishikawa, T.Sato, M.Sunagawa, T.Ishino, Y.Saito, T. Hisamitsu, The influence of electroacupuncture on reactive oxygen and blood fluidity. 第87回日本生理学会大会, 2010. 5. 19-21(盛岡)
- 4) T.Hisamitsu, H.Gao, S-Y Guo, M.Sunagawa, H.Horikawa, Systematic lipopolysaccharide challenge decreases hippocampal neurogenesis in juvenile rats. 第87回日本生理学会大会, 2010. 5. 19-21(盛岡)
- 5) H.Ikemoto, M.Kogure, N.Koshiishi, M.Sunagawa, M.Okada, T.Hisamitsu, Comparison of the effect of moxibustion treatment and moxibustion plus prednisolone treatment on collagen-induced arthritis in mice. 第87回日本生理学会大会, 2010. 5. 19-21(盛岡)
- 6) M.Sunagawa, H.Tanigawa, E.Tokita, T.Higuchi, S-Y.Guo, T.Hisamitsu, Participation of dopamine in constipation of Parkinson's disease.第87回日本生理学会大会, 2010. 5. 19-21(盛岡)
- 7) H.Fujiwara, S.Ishikawa, M.Sunagawa, Y.Tawaratsumida, T.Kubo, N. Hisamitsu, T.Hisamitsu, Effect of Melanogenesis stimulated by Hyugatouki (Angelica Furcijuga) Extract in Mouse B16 Melanoma Cell and Mouse hair. 第87回日本生理学会大

会, 2010. 5. 19-21(盛岡)

- 8) E.Tokita, M.Sunagawa, K.Murata, A.Kashio, Y.Kobayashi, T.Hisamitsu, Comparative study of the effect of herbal medicine on allergic rhinitis induced by intranasal instillation of toluene-2,4-diisocyanate in rats. 第87回日本生理学会大会, 2010. 5. 19-21(盛岡)
- 9) 砂川正隆, 王宝禮・久光正, 歯科口腔外科領域における漢方薬の使用実態調査. 第61回日本東洋医学会学術総会, 2010. 6. 4-6(名古屋)
- 10) 岡田まゆみ, 郭試瑜, 砂川正隆, 久光正, 疼痛刺激による脳・脊髄内c-Fosの発現に対するモルヒネおよびメロキシカムの作用. 第32回日本疼痛学会, 2010. 7. 2-3(京都)
- 11) 砂川正隆, 顔面口腔領域の東洋医学的治療(その2)―痛みとストレスと免疫―, 日本鍼灸師会学術講習会, 2010. 6. 27(東京)
- 12) 岡田まゆみ, 砂川正隆, 久光正, 小林玲音, 安本和正, 広汎子宮全摘出後のリンパ浮腫にペルサンチンが有効であった3症例についての検討. 第44回日本ペインクリニック学会, 2010. 7. 1-3(京都)
- 13) O.Mayumi, I.Hideshi, K.Morihito, N.Miura, S.Masataka, I.Shintaro, H.Tadashi, Moxibustion decreases IL-6 level and Increases CD4+CD25+ T cell (TREG) the collagen-induced arthritis mice. 13th World Congress Pain, 2010. 8. 30-9. 1, Montreal (Canada)
- 14) T.Hisamitsu, S.Guo, Y.Gao, A. Yoshida, M.Murai, Study of the origin in the variation of analgesic effectiveness in electroacupuncture using microarray method in rats. 13th World Congress Pain, 2010.8.30-9.1, Montreal (Canada)
- 15) S.Ishikawa, T.Kubo, M.Sunagawa, M.Okada, N.Hisamitsu, T.Hisamitsu, Elimination of reactive oxygen species by electroacupuncture may relieve pain through improvement of blood fluidity. 13th World Congress Pain, 2010. 8. 30-9. 1, Montreal (Canada)
- 16) M.Sunagawa, S.Ishikawa, K.Oka, M.Okada, K.Yasumoto, T.Hisamitsu, Inhibitory action of herbal medicine "DAIKENCHUTO" to the constipation induced by morphine in rats. 13th World Congress Pain, 2010. 8. 30-9. 1, Montreal (Canada)

◇原著論文

- 1) S.Ishikawa, M.Sunagawa, H.Tanigawa,

- E.Tokita, T.Ishino, T.Sato, SKH.Aung, T.Hisamistu, The effects of adrenergic receptor agonists and antagonists on blood fluidity in rats. Showa Univ J Med Sci. 22(2) : 117-125, 2010
- 2) 村松邦彦, 佐藤和恵, 浅野和仁, 磯崎雄一, 久光正, COX-2阻害薬 メロキシカムの活性酸素生成抑制作用. Pharma Medica, 28(4) : 107-111, 2010
 - 3) 石川慎太郎, 砂川正隆, 藤原博士, 安斎勉, 時田江里香, 池本英志, 佐藤孝雄, 浅野和仁, 久光正, コンドロイチン硫酸が血液流動性に及ぼす影響. 薬理と治療, 38(4) : 349-356, 2010
 - 4) 砂川正隆, 王宝禮, 影向範昭, 亀山敦史, 椋梨兼彰, 森純信, 槇石武美, 高橋眞一, 歯科口腔外科における漢方薬の使用状況—大学病院における使用実態調査—. 日歯東洋医学会誌, 29(1-2) : 15-23, 2010
 - 5) 前川勝彦, 佐藤和恵, 西迫尚, 鈴木昌, 浅野和仁, 久光正, 特発性大腿骨頭壊死の発症・増悪化因子としての活性酸素の役割. 関節外科, 29(4) 497-502, 2010
 - 6) 時田江里香, 砂川正隆, 石川慎太郎, 斉藤悠, 岩波弘明, 竹本真理子, 久保哲也, 浅野和人, 石野尚吾, 久光正, アレルギー性鼻炎モデルラットの鼻洗浄液中SP, CGRP, NGFに対する小青竜湯の効果. 薬理と治療, 38(10) : 891-898, 2010
 - 7) 時田江里香, 石野尚吾, 砂川正隆, 久光正, 基礎疾患により出演し、治療に難渋した症状に対して当帰芍薬散が奏効した2症例. 漢方の臨床, 57(11) : 26-30, 2010

◇講演・シンポジウム

- 1) 砂川正隆, 歯科漢方の基礎から臨床「瘀血と歯科疾患」, 日本歯科東洋医学会, 2010. 3(東京)
- 2) 久光正, 研究会りポート, 第100回昭和大学漢方研究会記念大会, 漢方と診療, 1(3) : 202-203, 2010. 8. 15
- 3) 久光正, 傷みと東洋医学, 第19回日本柔道整復接骨医学会学術大会, 2010. 9. 19-20(富山)
- 4) 久光正, 磁気療法について. 第9回日本統合医療学会認定資格セミナー, 2010. 10. 30(東京)

◇研究報告書

- 1) 黒岩祐治, 石野尚吾 他10名, 漢方・鍼灸を活用した日本型医療創生のための研究. 平成21年度総括・分担研究報告書(厚生労働科学研究費補助金・厚生労働科学特別研究事業), 2010. 3

◇著書

- 1) 石野尚吾, 1.歴史から見る漢方 2.現代医療の中の漢方医学 専門医のための漢方医学テキスト 9-13, 日本東洋医学会, 2010. 3
- 2) 石野尚吾, VII.鍼灸 専門医のための漢方医学テキスト 298-308, 日本東洋医学会, 2010. 3
- 3) 久光正, VII.鍼灸「鍼灸の作用のメカニズム」 専門医のための漢方医学テキスト309, 日本東洋医学会, 2010. 3
- 4) 砂川正隆, チェアースイドの効くオーラルサブリガイドブック～歯科で役立つサプリメント活用術～(王宝禮 編著)p.18-19, デンタルダイヤモンド社, 2010

◇留学生の動向

- 1) 張 躍進：中国江蘇省興化衛生学校生理学教室 助教授
- 2) 朱 奇：中国蘇州大学医学部神経生物学研究室 講師
- 3) 高 玉振：中国蘇州大学医学部法医学教室講師
- 4) 草柳 肇：ローマ大学, トルベルガータ校神経内科. 第一生理学教室で鍼灸研究に携わる.
- 5) 単 立冬：中国蘇州大学医学部神経生物学研究室 講師
- 6) 時 静華：中国包頭医学院医学部生理学教室 助教
- 7) 徐 乃玉：中国蘇州大学薬学部薬理学教室講師
- 8) 高 虹：中国蘇州大学医学部神経生物学研究室 助教

◇機関としての諸活動

◎東洋医学研究会の開催

近年の東洋医学への関心・ニーズに応えるべく、学内・外の臨床医および学生の研修の場として発足し、現在に至る。平成22年は、以下の講座が開催された。

<http://www10.showa-u.ac.jp/~oriental/>

- 1) 村主明彦, 「瀉下剤・清熱剤について」(第95回), 2010. 1. 19
- 2) 羽田紀康, 「漢方処方の薬理」(第96回), 2010. 2. 9
- 3) 各科からの診療・研究報告(第97回), 2010. 3. 16
 - 谷川博人, 「漢方外来での4症例の治療経験」(昭和大学漢方医学センター)
 - 渡辺あずさ, 「漢方外来と形成外科との連携治療について」(昭和大学 形成外科)
 - 澤田真紀, 「抗癌剤による骨髄抑制に十全大補湯が有効であった1例」(昭和大学 藤が丘病院 産婦人科)
 - 佐藤直也, 「ホットフラッシュに対する桂

枝茯苓丸の効果先生」(昭和大学 泌尿器科)

●與儀實夫,「硬化性脂肪肉芽腫に対する柴
苓湯の効果」(よぎクリニック)

●中尾健太郎,「術後肛門疾患に対する乙字
湯の使用経験」(昭和大学 消化器一般外科)

- 4) 石野尚吾,「漢方医学の基礎」(第98回), 2010. 4.
13
- 5) 石野尚吾,「漢方の診察法」(第99回), 2010. 5. 18
- 6) 鳥居塚和生,「漢方処方薬の生薬と作り方」(第100
回), 2010. 6. 15
- 7) 三村將・神田かおり他,「第100回 東洋医学研
究会」(記念大会), 2010. 6. 19
- 8) 幸田るみ子,「不安・気分障害の漢方治療」(第
101回), 2010.7.21
- 9) 石野尚吾,「医師・薬剤師に役立つ鍼灸治療」(第
102回), 2010.9.14
- 10) 木村武彦,「腹痛・便秘異常・会陰部痛の漢方
治療」(第103回), 2010. 10. 12
- 11) 堀部有三,「歩行障害・頭痛・脳血管後遺症・
浮腫の漢方治療」(第104回), 2010. 11. 16
- 12) 世良田和幸,「全身倦怠感・食欲不振・体重減
少(るい瘦)の漢方治療」(第105回), 2010. 12. 9